



平成27年9月18日

各位

上場会社名 株式会社 ロイヤルホテル  
 代表者 代表取締役社長 川崎 亨  
 (コード番号 9713)  
 問合せ先責任者 財務チーム長 坊傳 康真  
 (TEL 06-6448-1121)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日、公表いたしました「当社の子会社における訴訟判決に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、特別損失として減損損失を計上する見込みとなったことに伴い、また、最近の業績動向等も踏まえ、平成27年8月7日に公表いたしました平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想(連結・個別)を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,100	300	200	△240	△2.34
今回修正予想(B)	19,250	350	250	△1,950	△19.03
増減額(B-A)	150	50	50	△1,710	
増減率(%)	0.8	16.7	25.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	20,519	△368	△538	△572	△5.59

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	1,750	1,600	580	5.66
今回修正予想(B)	40,750	1,250	1,100	△1,250	△12.20
増減額(B-A)	△250	△500	△500	△1,830	
増減率(%)	△0.6	△28.6	△31.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	44,689	1,272	954	2,695	26.31

平成28年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,600	200	250	△150	△1.46
今回修正予想(B)	12,650	250	300	△250	△2.44
増減額(B-A)	50	50	50	△100	
増減率(%)	0.4	25.0	20.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	14,317	△374	△402	△372	△3.63

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,500	1,250	1,300	350	3.42
今回修正予想(B)	27,050	650	750	△150	△1.46
増減額(B-A)	△450	△600	△550	△500	
増減率(%)	△1.6	△48.0	△42.3	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	31,506	616	579	2,379	23.23

修正の理由

(連結)

当期の業績予想につきましては、当第2四半期において、当社及び当社グループホテルの客室部門等の売上は前回予想を上回って推移した一方、当社が運営受託しております「リーガロイヤルホテル京都」におきまして、運営受託料に関し、受託料総額に変更はないものの、契約内容の変更により、当期に見込んでいた売上計上の時期が翌期になったため、通期の売上高は減少する見込みであります。

これに加え、当社の子会社である株式会社アール・ピー・ビルディングの賃料減額確認請求訴訟に関して、平成27年9月9日付で東京高等裁判所より同社の請求を棄却する等の判決が言い渡され、賃料減額が認められなかったことにより、営業費用が増加したことから、通期の連結営業利益、連結経常利益とも前回予想(平成27年8月7日公表数値)を下回る見込みであります。

また、本日、公表いたしました「当社の子会社における訴訟判決に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、減損損失約1,814百万円を特別損失に計上することから、第2四半期(累計)の親会社株主に帰属する四半期純利益及び通期の親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想(平成27年8月7日公表数値)を下回る見込みであります。

(個別)

個別におきましても、連結と同様の理由により、通期の売上高及び営業利益、経常利益は前回予想(平成27年8月7日公表数値)を下回る見込みであります。

通期の当期純利益及び第2四半期(累計)の四半期純利益におきましても、連結同様の理由により、前回予想(平成27年8月7日公表数値)を下回る見込みであります。

※上記の業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上